



高齢者の肺炎を 予防

肺炎球菌の予防接種を助成

高齢者の肺炎球菌予防接種で肺炎などの感染症を予防し、重症化を防止しましょう。

問い合わせ 健康推進課（東 8 南 13、保健福祉センター内、☎ 25・9720）

予防接種で肺炎を予防

日本人の死亡原因の第 3 位である「肺炎」。主に細菌やウイルスなどが原因で起こる肺の炎症で、死亡者の多くが 65 歳以上です。私たちは、日常生活でたくさん

の細菌やウイルスに接していて、体の免疫力が低くなった時に、肺炎を発症しやすくなります。高齢者の肺炎球菌予防接種は法律上の接種義務はありませんが、予防接種を受けることで肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぐ効果が期待できます。個人差はありますが、健康な人であれば免疫力の高い状態が 5 年間は続くといわれています。

予防接種の助成対象年齢など

国の制度による予防接種として、希望者向けに平成 26 から平成 30 年度末までの間に 1 人 1 回、接種料金の一部助成が受けられる機会を設けています。平成 29 年度の対象者は次の①②両方に該当する人です。対象者には、4 月下旬にお知らせを郵送します。

表 平成 29 年度の肺炎球菌予防接種の対象年齢

年齢	生年月日
65 歳	昭和 27 年 4 月 2 日生～昭和 28 年 4 月 1 日生
70 歳	昭和 22 年 4 月 2 日生～昭和 23 年 4 月 1 日生
75 歳	昭和 17 年 4 月 2 日生～昭和 18 年 4 月 1 日生
80 歳	昭和 12 年 4 月 2 日生～昭和 13 年 4 月 1 日生
85 歳	昭和 7 年 4 月 2 日生～昭和 8 年 4 月 1 日生
90 歳	昭和 2 年 4 月 2 日生～昭和 3 年 4 月 1 日生
95 歳	大正 11 年 4 月 2 日生～大正 12 年 4 月 1 日生
100 歳	大正 6 年 4 月 2 日生～大正 7 年 4 月 1 日生

・お知らせの文書
・実施期間 平成 30 年 3 月 31 日(土)まで
・持ち物

紛失した人、届いていない人には改めて郵送が可能です。
・健康保険証など、住所・生年月日の確認できるもの
・生活保護受給者は被保護証明書費用 2900 円

生活保護受給者は、市が発行する被保護証明書を持参すると費用が免除されます。
実施医療機関
お知らせに同封するほか、総合案内（市庁舎 1 階）、各支所、各コミセンにチラシを配置します。

②今まで高齢者の肺炎球菌予防接種（ニューモバックス）を受けたことがない人
このほか、60 歳以上 65 歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器、免疫の機能に障害のある人は対象になる場合がありますので、健康推進課に問い合わせください。なお、平成 31 年度からは 65 歳の人のみを対象者として実施する予定です。

また、助成が受けられる対象期間に接種の機会を逃した人や、これまで接種したことがある人は、前回の接種間隔により、任意接種（全額自己負担）で受けることもできるので、医師に相談してください。

予防の基本は「手洗い」「うがい」

予防接種を受けても全ての肺炎を防げるわけではありません。日常生活での予防も大切です。

手や喉には、肺炎を引き起こすウイルスが付いています。帰宅時などには、「手洗い」「うがい」を徹底しましょう。

毎日の習慣にしよう

手洗い うがい



がん検診を 受けよう

定期検診でがんを早期発見

帯広市民の死因で最も多いのが「がん」です。毎年がん検診を受けて、自分の健康状態を確認しましょう。

問い合わせ 健康推進課（東 8 南 13、保健福祉センター内、☎ 25・9721）

早期発見・治療が大切

がんは早期発見で 9 割は治る病気といわれていますが、一般的な検査で見つかるがんの大きさは約 1 センチで、がん細胞が生まれてから 15 年ほどかかるといわれています。しかし、1 センチのがんが 2 センチになる期間はわずか 1 年 6 カ月です。このため、早期発見するには、定期的な検診が必要です。

また、例えば大腸がんの場合、万が一がんが見つかったとしても、早期発見できた人の多くが内視鏡による切除で済むなど、少ない負担で治療ができます。

がん検診は 6 種類

市では、胃がん検診をはじめ 6 種類のがん検診を実施していて、年齢などの条件を満たしている市民であれば、どなたでも受診できます。（表）

コミセンや福祉センターなどで受ける「集団検診」と、医療機関で受ける「施設検診」があり、いずれも電話で申し込みが必要です。

表 がん検診の種類と対象者・検診料

検診名	検診内容	対象者 (年齢は平成 30 年 3 月末現在)	検診料	
			集団検診	施設検診
胃がん検診	胃部 X 線検査 (バリウム検査)	35 歳以上	1100 円	
肺がん検診*	胸部 X 線検査 (必要時さらに痰の検査)	40 歳以上	400 円 (痰の検査 610 円)	
大腸がん検診	便潜血検査	40 歳以上	550 円	1000 円
子宮がん検診	子宮頸部検査 (必要時さらに体部検査)	20 歳以上 (偶数年齢) の女性	1320 円 (体部検査 500 円)	1400 円 (体部検査 900 円)
乳がん検診	マンモグラフィ検査 (X 線)	40 歳以上 (偶数年齢) の女性	40 歳以上 2100 円	2100 円
			50 歳以上 1750 円	1600 円
前立腺がん検診	血液検査	50 歳以上	600 円	1000 円

* 15 ～ 39 歳の人は、結核検診として無料で受けられます

集団検診

日程は 4 月中旬の新聞折り込みか、市ホームページの「平成 29 年度がん検診・生活習慣病検診のご案内」で確認してください。
子宮がん・乳がん検診は、託児を行う日があります。詳細は問い合わせください。

実施期間 6 月 7 日(水)～平成 30 年 3 月 17 日(土)

検診料が無料になる人

- ① 帯広市国民健康保険加入者
- ② 後期高齢者医療制度加入者
- ③ 医療保険各法の高齢受給者証所持者
- ④ 生活保護受給者
- ⑤ 平成 29 年度の市民税が家族全員非課税の人

申込期間 5 月 8 日(月)～平成 30 年 3 月 16 日(金)
申し込み 釧路がん検診センター 帯広出張所 (☎ 27・2345)
施設検診
実施している曜日や時間は、各医療機関に確認してください。
実施期間 平成 30 年 3 月末まで
実施医療機関 コミセンなどの公共施設に配置の平成 29 年度版「健康づくりガイド大人編」や市ホームページで確認してください。